初演

盆 教草女房形気 京山作豊國画 寒冬 小冊 七〇〇

教草女房形気上之巻

京山作
豊國画

京水

おとこもまたこゝやうこそ
ゑらばてりのしるる
たゝのあるさまをしる
はたらくこゝろもまた
なかめのをしへ
旬の古事の草
ものしるべとも

山東庵

織心
耕筆

弘化二年
巳夏稿本

弘化三年午春新板

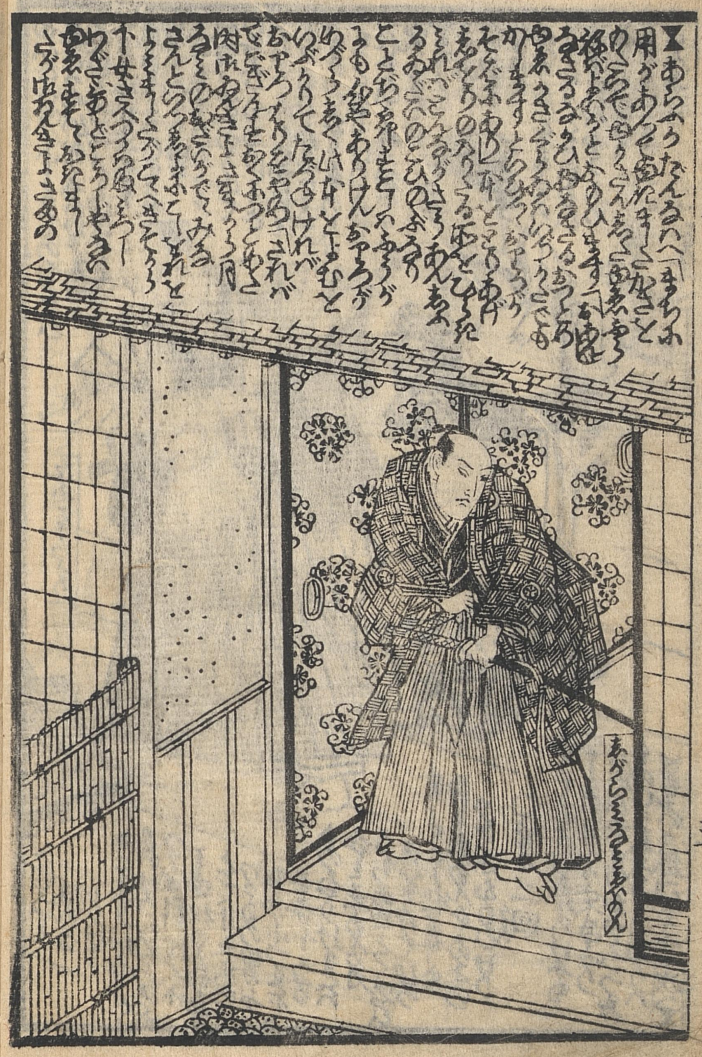
○摂津国有馬郡山口の庄ふ温泉なり
これを有馬の湯とそのの名湯
四ふさこえる名湯なり
●そもくけ湯へ今をる年
二百五十余年のひさ
天皇三年け湯始し勅出帝
行幸あるあら孝徳天皇も行
幸あるーをるど日今紀ふこえる
又千載集ふもふ歌ふ
あるさてけ湯堀河院美徳元
年洪水山を崩して温泉
流れ入るのあ九十五年の
間こえる後鳥羽院の
御時建久二年大和国吉
野の僧仁西法師熊野
ふ参詣ふ権現の
霊夢ふ結して有
馬ふくり温泉を湧ひて

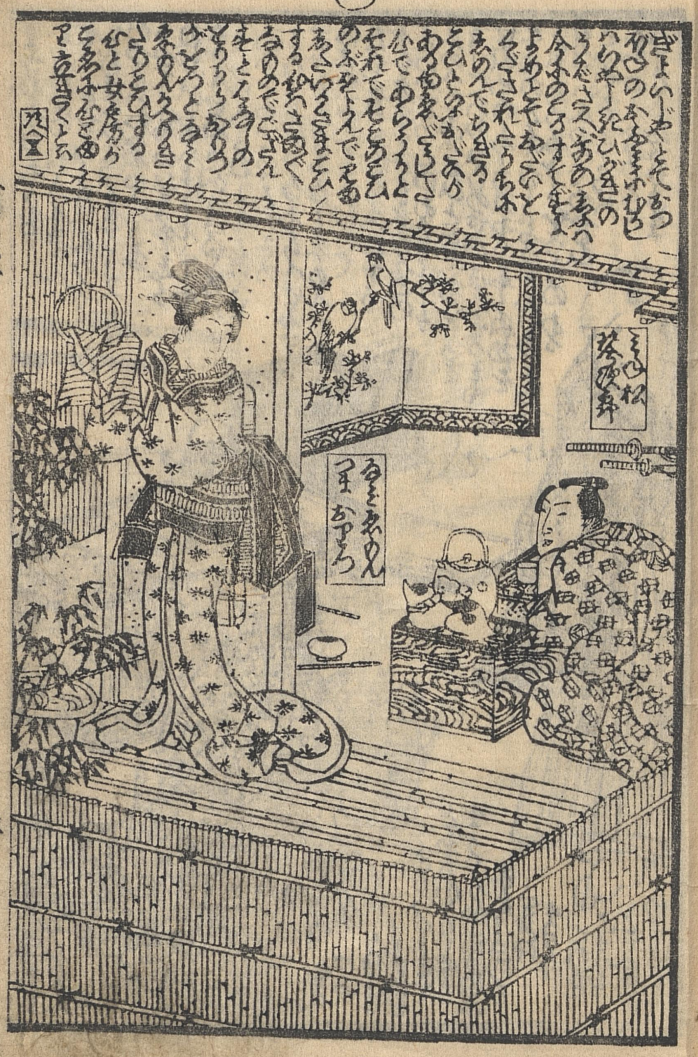
再興あるよるのち
天正十七年
殿下もてふ入湯あるて
灰形山阿弥
陀堂ゑどの利久の
古跡ものこを
本朝ふ冠くる名
湯とーく繁昌
まることあま移く世の
あるふるけ湯のことあとバ
ふけ湯のことあとバ
温泉の起原を
ふふあるを

○楠五代目正儀忠節之一事

発端
ことぶき弟

たふてつこう
○第二回





○第四回

○第五回

NANYODO BOOK-STORE
MOTOMACHI BUNKYO
TOKYO
楠林南陽堂

嘉永三庚戌春新版

京山作
品定五人娘 初編二編
豐國画

源氏角兵衛のふさめ五人の娘なのむくふ世をすぐる事をかりそめ

雛鶴笹湯壽 全一冊
京山作 豐國画

色ぢまる大形なるうさうをかつぐあげめそこさもと紙ふまのなりそくかきたるかるれべれみあげあ上る古ちう

同作
教草女房形氣 八編
同画 九編

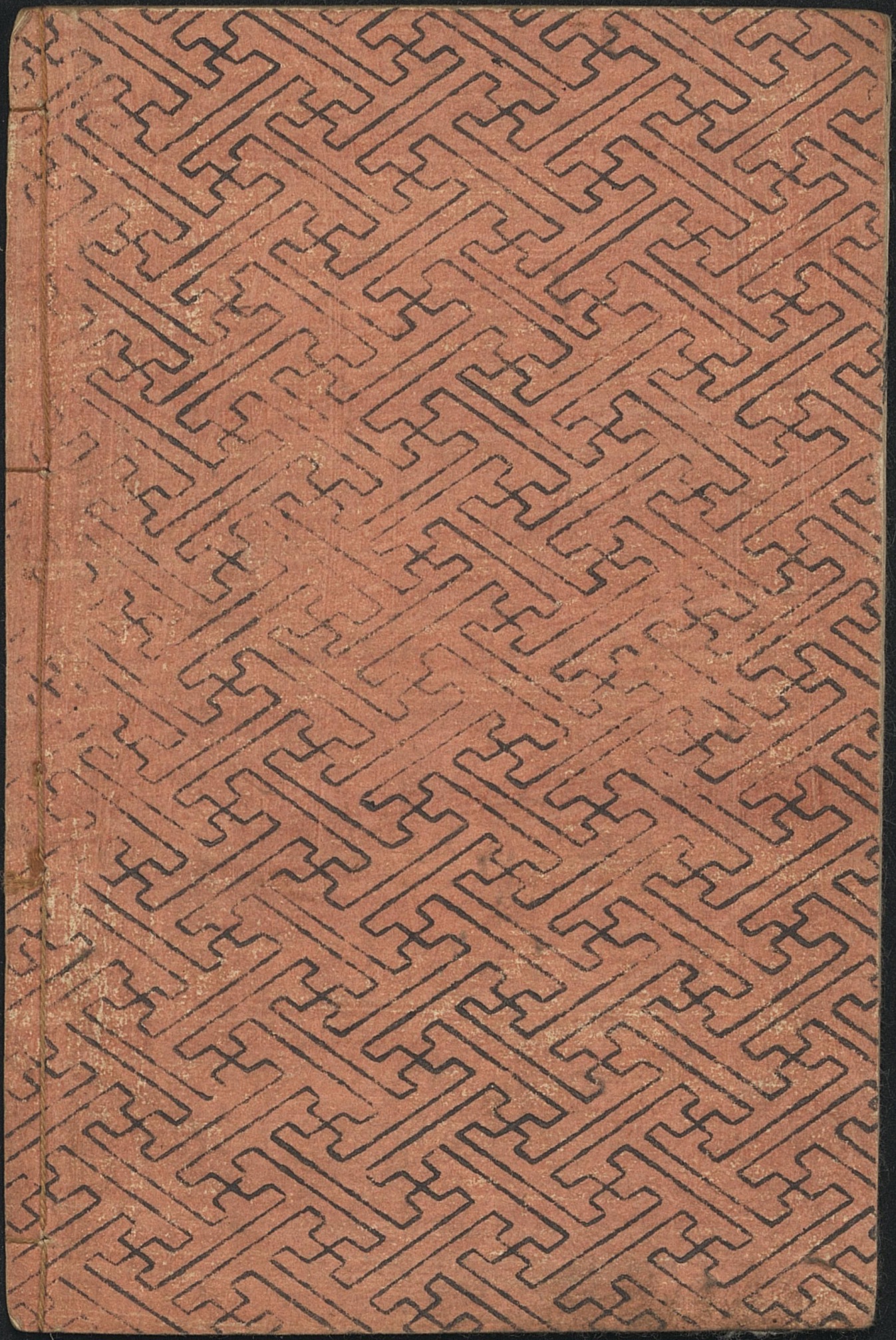
同作
ちら塚物がたり 三編
同画 大尾

玉川亭調布作
つぢめ稲妻艸紙 初編ヨリ五編マテ
錦朝楼芳虎画 大尾

好古斎主人作
かな手本忠臣蔵 二冊
芳虎画

新撰狂句會 初篇 二篇
一立斎廣重画

江戸中橋廣小路
山田屋庄兵衛板

26冊
37.2.7.

京山作
豐國画